



2016～2017年度国際ロータリー会長ジョン・ジャーム

会報
Weekly Report
AKISHIMA TOKYO

【例会場】 フォレスト・イン昭和館 TEL:042-542-5555
例会日 毎週木曜日 開会点鐘 12時30分～
【事務局】 〒196-0014 東京都昭島市田中町562-8 昭和第1ビル202-B
TEL 042-543-8975 FAX 042-541-1117
ホームページ http://www.akishima-rc.org
E-mail akishima-rc@hkg.odn.ne.jp

会長方針 「信頼」と「誇り」と「連帯感」

第2399回 例会報告 2017年3月31日発行 VOL.49-33
2017年3月23日(木)例会

**○司会 社会奉仕・職業奉仕チーム
木野 常男 リーダー**



【開会点鐘】12時30分 安保 満 会長



※ロータソングリーダー 寺嶋 功 会員



来訪者紹介

卓話講師 第2750地区奉仕研究委員会
木村 真 様(東京恵比寿RC)

記念品贈呈及び退会挨拶

※挨拶 藤井 有一 会員

私は12年前にも3年間ほど仲間に入れて頂きました。その後6年間親会社に行って、3年前に再入会させて頂いた時には、皆様のお顔も存じ上げておりましたので、すんなりと仲間に入れて頂いたと思っています。私の後を引き継ぎますのはホテル総支配人場崎浩一が参加させていただく事になります。私はまだ、昭島におりますので、会いましたら手を振って頂ければと思います。



左より 相田幹事、藤井有一会員 安保会長

※ホテル総支配人 場崎 浩一 様

この会では若輩も若輩何も分かりません。ご指導頂きたいと思ひます。私は18年努めて参りましたが、その間皆様には大変お世話になって参りました。今後共よろしくお願ひ致します。

会務報告 安保 満 会長



1. 3月18日(土)昭和の森G.Cで第6回地域交流ゴルフが開催されました。市内6団体と行政、市内大手企業の皆様が参加して岩泉のチャリティの意味合いもありました。今回は大野会員、小山会員、坡山会員との4名が参加しました。

2. 3月20日(月)国連大学においてファオジオ・ディナさん所属の東京米山ロータリーEクラブ2750の創立5周年記念式典が開催されました。当日は相田幹事、渡辺会員と3名で出席して参りました。国際色豊かで世界とスカイプで結んでEクラブ体験などもありました。

幹事報告 相田 禎延 幹事

1. 例会臨時変更の案内
東京国分寺RC、東京立川こぶしRC
東京国立白うめRC、東京井の頭RC
2. 多摩川クリーン作戦開催のご案内
日時 4月9日(日) 8時～
集合 大神公園鉄橋下
クラブ白ジャンパー、帽子着用をお願いいたします。
3. 各テーブルファイルに「ハイライトよねやま204号」が綴じてあります。
4. 来週より例会は以下の通りになります。
3月30日(木)立川RCとの合同例会
4月6日(木)「観桜会」
4月12日(水)「多摩中グループIM」となります。
会場をお間違いのない様にお願い致します。



チーム報告

○親睦活動出席チーム

※出席報告 竹前理映子 委員



会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席/内免除会員
46名	6名	40名	39名/4名
事前メイクアップ		本日の出席率	
2名		93.18%	

※事前メイク 並木会員、鈴木(一)会員
※メイクアップ 3月9日 柳会員 訂正90.90%
3月15日 井上会員 訂正86.04%

○国際奉仕チーム

※「カンボジアプロジェクト全体会議」報告
小池 満 チームリーダー



カンボジア教師育成プロジェクトの件でカンボジアに相田幹事と行って「感謝状」を頂いてきました。

このプロジェクトは1年間教師を派遣しますが、内容はカンボジアの先生を育成するための派遣教師のプロジェクトです。

今年は3人の教師を派遣することが出来ました。

今回は総額9000ドル(約1,000万円)でロータリプロジェクトとしてはかなり大きなプロジェクトでした。又、東京世田谷RCを中心に24のクラブが参加して大きな成果が上げられました。

○「3クラブ合同例会」

※報告 森島 徳幸 副幹事



3月15日(水)東京福生RC、東京国立白うめRC、と東京昭島RCの3クラブ合同例会を開催いたしました。

当日は東京昭島中央RCの会長幹事がお見えになっておりましたが、来年以降は4クラブにしてほしいと云うご意見もいただきました。皆様大勢のご出席ありがとうございました。



OIM(インターシティミーティング)委員会

※現地打合せについて

坡山 浩二 IM委員

3月21日(火)にIMの会場となる立川パレスホテルの現地視察の実行委員会が行われました。

現在までの登録は300名を超える参加を頂いています。

この後当会場で例会がありませんので、各テーブルに会場の着席が決めます。当日は受付でテーブル席が明記されていますが、テーブル内は自由にお座り頂いて結構です。

IMは4月12日(水)12時点鐘、立川パレスホテルで開催です。

基調講演はスポーツ用品の美津濃株式会社・社長水野明人様です。皆様の出席をお願い致します。

分からない事がありましたら、IM実行委員の私と矢口会員にお問い合わせ下さい。

○管理運営委員会

※「合同チーム会」報告

坡山 浩二 委員長

3月21日(火)「想屋」で親睦活動出席チームとプログラム会報チーム合同チーム会が開催されました。

内容は、プログラム会報チームより第4四半期の6月最後に2例会分の空きがあります。

親睦活動出席チームより、親睦旅行について3案の提出がありました。両チーム案は概ね絞り込まれておりますが、決定次第報告させていただきます。

この後の懇親会は大いに懇親を盛り上げました。

○親睦活動出席チーム

※ニコニコボックス発表 須藤 智秀 委員

安保会長 地区奉仕研究委員会木村様のご来訪を歓迎致します。

卓話よろしく願います。

相田幹事 2750地区奉仕研究委員会木村真様。本日の卓話よろしく願います。

伊藤会員 “桜咲く”うれしい春のたより、ロータリーの前途に栄光あれとニコニコを!!

井上会員 72才の春3月、創価大学の通信教育経済学部をめたく卒業。

学んだことを職業奉仕、社会貢献に生かして「生涯青春」「生涯現役」で、まだまだ頑張るゾー。

藤井会員 4月の移動により本日が最後の例会になりました。楽しいロータリークラブを過ごすことが出来、会員の皆様本当にありがとうございました。最後までゴルフのブービーメーカーから抜け出せなかったことが残念です。まとめニコニコ!!



本日の合計 40,000円
累計 1,717,136円
予算達成まで 782,864円

卓 話

※卓話講師紹介

安保 満 会長

地区奉仕研究委員会は大概ガバナーの肝いりで今年出来た委員会です。奉仕を研究するという委員会で様々な側面から、ロータリーは目的は決まっておりますので、そのための手段をいろいろと研究いただける組織と、私は理解しております。

今日はこの委員会の活動など、木村委員長にご説明頂きます。よろしく願います。



※テーマ「社会貢献の流れとロータリー」

第2750地区奉仕研究委員会 木村 真 様



委員会名にもあります「奉仕研究」と云うのはロータリーの奉仕を研究する委員会ではありません。世界ではいろいろな奉仕活動が行われていますが、広い視野から研究して、各クラブロータリアンの皆さんに発信していこう云う委員会です。この委員会は引き続き猿渡年度も継続して行われると伺っております。

広い視野とは、社会貢献活動が各企業、個人の間で高まっています。一般的に何故奉仕活動、社会貢献活動をするのかを内閣府が平成27年度に調査されています。日本の場合は社会の役に立ちたい。活動を通じて自己啓発又は自らの成長につながる。自分や家族が関係している活動への支援。職場の活動の一環として行うなどが上げられますが、欧米の場合は神の教え、恵まれている者の特権であり、責任である。同情、隣人愛、連帯意識などが中心になっています。最近の動きの中で企業の社会貢献はどういう形になっているのか、を私たちは最初に調べました。企業の社会貢献活動の第1段階は「良心的にビジネスを行うこと」です。これはロータリーの哲学「四つのテスト」「シェルドンの“最もよく奉仕する者は最も多く報いられる”～One Profits Most Who Serves Best～」などが社会貢献の基本的な背景になっていた様です。しかし、社会が進み企業統治が厳しくなり、社内管理の徹底も進んで良心的にビジネスをする事が当たり前期待される様になってきました。次の段階でお金、商品、技術の無償提供などを行う様になりました。方法は株主の優待に寄付を入れたり、社員の寄付に同額を会社が援助、寄付付き商品の提供、ボランティアの休暇制度を導入、など多彩な形で社会貢献が行われる様になりました。この様なことが盛んになってきたのは、大震災など国民意識の変化、企業の社会貢献は社員の帰属意識を高め社員の誇り。経団連には1%クラブがありますが、税前利益の1%を社会貢献に使うなどそれぞれの分野で進展してきています。

営利企業は事業性を高めて収益を上げていましたが、社会性に力を入れてきています。一般の奉仕は「奉仕に企業手法」を時代の流れで導入してきています。プロジェクトの継続性、効果の評価。お金が効率的に使われたか。創造性を発揮したかなど意志決定は適切だったかを問い直しています。

今後の課題として、ロータリーは国際的なネットワークがあり、いろいろな職種の人がいて、リーダー的立場の人がいて、民間の自由さがある事から、仕組みの工夫によって地域が求めている独創的なプロジェクトを始める時にも資金以上の効果を得ることが出来るのではないのでしょうか。

自分の専門知識やノウハウで社会貢献をすることを「プロボノ」と云いますが、この「プロボノ」こそロータリーが得意とする分野ではないのでしょうか。奉仕のアイデアの例として、ソウル大会の時に若い起業家を応援するために、AIで貧しい人たちの就職支援をしているフィリピンの起業家、フィンテックで貧困層向けのファイナンシャルプランニングをしている韓国の企業家。などの話が紹介されていました。この様な分野に於ける支援をしていく事もロータリアンの今後、提供できる道ではないかと思えます。

※詳細は配付資料でご確認下さい。

※謝辞・記念品贈呈

安保 満 会長

左より 相田幹事、木村 真様
安保会長



閉会点鐘

安保 満 会長

第2401回 4月6日(水)

「観桜会」